



## エミールだより

2月

エミール保育園  
園長 江口 浩三郎

## 「寛容」と「従順」について

寒い日が続いていますが、やがて梅の花が咲き、うぐいすの鳴き声が聞こえる日も近づいてきました。

先日の保育参観はいかがでしたか。気持ちを集中させて動かし続けている指や手のずっと先の方に、子どもの未来像が見えてきましたか。シンポジストのお話の底辺に、大きな「愛」ということばを見つけることができましたか。私としては、子どもたちや保護者の皆さんへの「信頼」が、さらに深められたひとときでした。

ところで、人間には非常に多くの性格とか資質が備わっていますが、「寛容」や「従順」もそのひとつです。

「寛容」とは、心を広くして相手を自分のふところのなかに受け入れることができることであり、また他人のミス細かいことまで責めないで許してあげることです。

また「従順」とは、他人のことばに素直に耳を傾けたり、他人の指図にツバコベ文句言わずに従って行動したりすることです。

両者ともうまく使いこなせれば、その人の人間性に大きな影響をもたらしますので、できればまだ幼い人格形成期の頃に、環境のちからによって身につけさせる必要があります。

それでは、「環境のちから」とはなんのでしょうか。それは、その子の小さい時からひとりの人格者として認めてやり、自発性を尊重して自由な意思表示ができるようにしておくことです。このことは言い換えれば、「まわりのみんなはあなたを愛していますよ」ということですから、こどもは強い幸福感を感じ、同時に、まわりのみんなを好きになります。そして、自己中心的な態度や視野のせまい頑固さや、他人にすぐケチをつけるような悪い面が消えていきます。

先に「うまく使いこなせば」と書きましたが、これは自由な生活が認められるなかで、自立心や他人の自由を侵害しない自己主張の方法が身につけてきますので、不必要にまわりの雰囲気にもまされたり流されたりするようなことはありません。

寛容さや従順性は、多くの人間がいっしょになって過ごすなかで発揮されるグリースみたいなものです。自分だけでなくまわりの人たちも過ごしやすくなりますから、自然とその人の周りには人が集まってきます。そして困ったときにはみんなで助けてくれます。人はひとりでは生きてゆくことが出来ないならば、自分のことを心より思ってくれる人たちと過ごしたいものです。そのためには「寛容」と「従順」がカギとなってくでしょう。

園長より

## お別れ遠足のおしらせ

早いもので今年度最後の遠足になりました。みどりさんにとっては、保育園生活最後の遠足です。楽しい思い出をたくさんつってほしいと思います。お天気にめぐまれるとよいですね。

日程：2月21日(木) 8:50集合 場所：福岡市動植物園（福岡市中央区）

乗り物：貸切バス 対象：光組以外の全クラス

（光組は園周辺に遊びに行きます。）

お弁当がいります。保護者の引率は必要ありません。

\* 詳しいおたよりは2月15日(金)に配布します。

## 2月の行事予定

1	金	豆まき
2	土	MAPA
3	日	
4	月	バードウォッチング
5	火	こままわし大会
6	水	
7	木	スケート教室(5歳)
8	金	スケート教室(5歳)
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	卒園記念写真撮影(5歳児)
13	水	子どもお茶会
14	木	子どもお茶会 ペアレンツくらす
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	誕生会 またにてい講座
19	火	避難消火訓練
20	水	ふわふわルーム
21	木	お別れ遠足
22	金	
23	土	入園内定発表
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	

体育教室 5歳児

1・7・8・15・22日(金)

リズムク 4・5歳児 12日(火)

歌唱指導 4・5歳児 26日(火)

絵画指導 5歳児4日(月)

28日(木)